



下京のひびき

市民しんぶん下京区版

11・15

推計人口	男	女
72,504人	33,614人	38,890人
世帯数	35,826世帯	
(平成14年10月1日現在)		



あっ!

地

正しい行動が すぐできますか？

大規模な地震が発生したとき、それぞれの家庭や地域でどう行動し、何をしないといけないのか。とっさのとき、常日ごろの訓練の積み重ねが私たちの行動を左右します。

下京区防災会議では、阪神・淡路大震災の教訓を忘れることなく、災害に強いまち下京を築いていくため、今年も「下京区総合防災訓練」を行います。

【主な訓練内容】

障害排除訓練 緊急車両の通行を妨げている倒壊家屋の土砂やがれきをショベルやバール、ノコギリを使って排除します。

救出・救護訓練 倒壊建物の下敷きになっている人の救出活動と応急救護所への搬送、負傷者の応急手当を行います。

消火訓練 消火器とバケツリレーでの消火活動を行います。

救助訓練 消防隊・救助隊・救急隊・消防航空隊・消防団の合同訓練。

救助隊は火災を起こしている車両に閉じ込められた人を救出、消防団が担架搬送で救急隊に引き継ぎます。消防隊は出火車両の消火活動を行います。消防航空隊がヘリコプターで運んできた救援物資を投下したあと、重症患者を収容し医療機関へ搬送します。

消防(放水)訓練 消防隊・消防団の合同訓練。

消防隊は放水銃を使って消防(水槽)車から放水し、消防団は小型動力ポンプで放水を行います。

震

— 下京区総合防災訓練 —

「マグニチュード7」「震度6強」の地震発生を想定した訓練を展開します。

日時 12月1日(日)

午前9時～正午

場所 梅小路公園



京都市長
梶本 頼兼

安全・安心のまち21世紀京都をめざして

梅小路公園を訓練会場に下京区全域で行われる「下京区総合防災訓練」は、だれもが安心してらせる災害に強い「まち・人・組織」づくりの実現に向けた、大変重要な取組です。

「下京区総合防災訓練」を通じて、区民の皆様が、地震災害が起こったときに、それぞれのご家庭や地域でどのように行動することが大切なのかを考えていただくきっかけとなることを願っております。

であいふれあい町衆のまち いきいき下京

